

2023 年 2 月 20 日

動物実験計画書

宮城学院女子大学学長 殿

申請者 所属 生活科学部食品栄養学科 職名 准教授

氏名 後 藤 知 子 

宮城学院女子大学動物実験指針第 7 に基づき、提出します。

1 実験担当者等

実験担当者（教員）

生活科学部食品栄養学科 准教授

氏名 後藤 知子

実験担当者の動物実験の経験および教育訓練の経験

動物実験の経験 28 年, 教育訓練の経歴 有

実験期間

2023 年 3 月 1 日（水）～2023 年 3 月 27 日（月）

【動物飼育期間 2023 年 3 月 2 日（木）～2023 年 3 月 22 日（水）】

2 動物実験名（教育・研究課題）

妊娠期ラットの潜在的亜鉛欠乏がホルモン分泌に及ぼす影響

3 実験動物（実験動物の種・系統・性別・使用匹数を含む）

ラット：Slc：SD（SPF） 雌 24 匹

4 動物実験の目的（動物実験を必要とする理由を含む）

妊娠期ラットの潜在的亜鉛欠乏がホルモン分泌に及ぼす影響を追跡することを目的とするため、実験動物による検証が必要となる。すでに本検討の実験内容にて、安全面について確認しており、実験手技も習熟し、実験動物に対する苦痛を削減するよう努めるものとする。

5 動物実験の概要（飼育環境、飼育方法、苦痛軽減の処置、実験終了後の処置を含む）

持続－自由給餌法で、ラット飼育ケージで個別飼育する。飼育室の条件は温度 23℃, 湿度 50%, 明暗周期 08：00－20：00 明期, 20：00－08：00 暗期とする。飼育期間は毎日給餌, 給水, 体重測定を行う。解剖はペントバルビタールで麻酔後、十分に麻酔がかかっていることを確認後、開腹し、全血採血し、苦痛なく屠殺（安楽死）・解剖に供する。

6 動物実験実施場所

家政館 5 階動物実験室